学校番号	T1204

平成 31(2019)年度　　国語科

教科	国語	科目	現代文Ｂ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「新編 現代文Ｂ」　（大修館書店）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・休まずに授業に出席し、しっかり授業を聞く姿勢を身につけること。
・作品を通して、話し方、書き方、表現方法などを学ぶこと。
・近代以降の様々な文章を読み、読み解く力を学ぶこと。

2　学習の到達目標

近代以降の様々な文章を読む能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深めること。また心情を豊かにし、伝え合える力、物事や心情などを適切に表現する力を身につけさせる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	国語で理解し表現する力を進んで高めるとともに、国語を尊重して其の向上を図ろうとしている。	目的や場に応じて効果的に話したり的確に聞きとったりして、自分の考えを深め、発展させている。	必要な情報を用い、相手や目的、課題に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えを深め、発展させている。	近代以降の文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	言語文化及び言葉の特徴やきまりなどについての理解を深め、知識を身に付けている。
評価方法	・出席状況 ・授業態度 ・行動の観察 ・提出物 （プリントなど）	・授業態度 ・行動の観察 ・発表	・提出物 （プリントなど） ・作文 （感想文、要約など） ・小テスト ・定期考査	・提出物 （プリントなど） ・要約 ・定期考査	・提出物 （プリントなど） ・小テスト ・定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
前期(中間考査)	随想	若い人たちへ 『どんな人になりたかったか？』	○		○	○	○	a:作品にあるメッセージを自らのことに置き換え考えようとする。 c:「どんな人になりたいか」ということについて、自分の考えを文章にまとめている。 d:筆者が理想とする人間像を読み取っている。 e:漢字などの語彙を増やし、ことわざ・慣用句などの表現を理解している。	・出席状況 ・授業態度 ・行動の観察 ・提出物 (プリントなど) ・発表 ・作文 (感想文・要約) ・小テスト ・定期考査
	小説	小説を楽しむ 『待合室』	○	○		○	○	a:登場人物の心情を想像しながら小説を読むことに意欲をもっている。 b:江田先生がついた嘘について、自分の意見を述べる。 d:登場人物の人間像やそれぞれの心情を読み取っている e:漢字などの語彙を増やし、ことわざ・慣用句などの表現を理解している。	
前期(期末考査)	随想	社会に生きる 『稼ぐだけが目的か』 『幸せの分量』	○		○	○	○	a:作品を通して「幸せ」や「働く意義」について意欲的に考えようとする。 c:「幸せ」や「働く意義」について、自分の考えを文章にまとめている。 d:筆者の主張を理解出来ている。 e:題材・テーマの選び方、構成の工夫について理解している。	
	短歌・俳句	短歌・俳句に親しむ 正岡子規 与謝野晶子 俵万智 ・・・他	○	○	○	○	○	a:短歌・俳句の特色を理解し、興味をもって親しもうとしている。 b:好きな歌人・俳人の人生や作品について、適切なかたちでまとめ、発表している。 c:短歌・俳句のリズムを理解し、短歌・俳句を書くことができるか。 d 短歌・俳句の歴史・伝統・形式を理解している。 e:それぞれの作品の用語・語法・修辞などについての理解を深めている	
後期(中間考査)	小説	名作を読む 『こころ』	○	○		○	○	a:近代文学を読むことに興味をもち、積極的に他の作品に手を伸ばそうとしている。 b:場面ごとの登場人物の心情とその変化を考え、発表する。 d:文章中の表現から、Kの人物像を読み取っている。また場面ごとの「私」の心理を、文脈をふまえて理解している。 e:当時の風俗や社会情勢について理解を深めている。	
後期(期末考査)	随想	現代を考える 『「検索」時代における読書』	○		○	○	○	a:筆者の主張を、自分自身の問題としてとらえて考えている。 c:「現代における読書の意義」について、自分の意見を文章にまとめている。 d:現代社会において、ものを考えたり、読書したりすることの意義について、理解を深めている。 e:語句の意味を正しく理解し、漢字を正しく読み書きしている。	

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:話す・聞く能力　c:書く能力
d:読む能力　e:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元(題材)で全ての観点について評価することとなるが、学習内容(小単元)の各項目において特に重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について○を付けている。